



徳島市ダイバーシティ経営企業認定制度

女性、若者、障害者、高齢者等の多様な人材をいかし、その能力を最大限発揮できる機会を積極的に提供するなど、ダイバーシティ経営を行っている中小企業等を「徳島市ダイバーシティ経営企業」として認定し、その取り組みを広く発信することで、多様な人材が意欲的に仕事に取り組める職場風土の醸成や、働き方の仕組みの整備向上を図るものです。

令和5年度は4社を認定し、令和5年11月16日開催の「徳島市SDGs未来都市フォーラム」にて表彰を行いました。

ダイバーシティ経営企業大賞／女性活躍推進賞 喜多機械産業株式会社



▲代表取締役社長 喜多真一さん。喜多機械産業株式会社は建設機械・資材の複合専門商社として、先端技術の建設機械・資材、環境保全のための施設・設備・土木工事工法の提供などを行っています。働きがい改革、健康経営、消費者志向経営、エシカル消費などにも積極的に、社内の取り組みを伝えるため、自身で動画を撮影するなど今風でスピード感ある対応も社員から慕われています。



◀代表取締役専務の辻紀子さん。



▲アロマの勉強会の様子。集中力をアップさせたり、リラックスさせたりすることができる香りの効果が「事故防止やオンオフの切り替えなど、仕事に役立つのでは？」と社員の提案で勉強会を行っています。

一人一人が個性をいかし、輝ける場所に

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する「ユースエール」、子育てサポート企業として高い水準をクリアした証である「プラチナくるみん」、健康経営における優良な取り組みを実践している法人を顕彰する「健康経営優良法人ブライツ500」の3年連続認定など、実績ある徳島市ダイバーシティ経営企業『喜多機械産業株式会社』。

今年度は不妊治療に関する就業規則も制定。介護や通院なども含め、「プライベートなことなので話しにくいとは思いますが、一人で悩みを抱え込まないようにしてほしい」という代表取締役専務の辻紀子さん。孫の看護のための時短勤務もOKで、「会社としてできることをしよう」と寄り添う気持ちでそれぞれに対応するうち、さまざまなサポート体制が自然と増えているといいます。こうした社員を大切にする姿勢は、ES(社員満足度)3年連続増加、勤続50年を超える人や兄弟、親子二代にわたって勤務する人の多さなどにも表れています。

また能力や意欲に応じて、スキルアップにつながる研修も充実していて、その核となっているのが知識や技術を継承する社内アカデミー『KTLA』です。社員が講師になり、互いに教えあうスタイルで、個性や潜在能力を引き出し、共に成長することを目的としています。この他、社員の発案によるアロマジェネリストの資格取得やエシカルコンシェルジュの育成講座もあり、興味のある人は誰でも参加できるため、部門を超えたコミュニケーションの場にもなっています。

『喜多機械産業株式会社』は1961年の設立当初から、「仕事に男や女や、関係ない。仕事ぶりをみよる」という初代社長の想いのもと、働き方を重んじる風土が、育まれてきました。こうした想いが基盤となり、幅広い人材が各自の特性や能力をいかして活躍することで、新たな価値創造につながっています。



▲KTLA(KITAKIKAI LOCAL ACADEMY)の校章。森火事に一滴ずつ水を運ぶハチドリ物語『ハチドリのひとしずく』と、藍の織機修理から始まった会社の歴史をモチーフに藍の葉がデザインされています。



本社所在地
徳島市庄町三丁目16
TEL:088-631-9266
<https://kitaikai.co.jp/>



船場化成株式会社

徳島市で60年以上、ポリエチレンフィルムを製造しており、工業用や食品用、DMやファッションバッグなど包装資材を主力に、2019年(令和元年)には新たにバイオマス原料を使用した新商品を開発。資源を有効活用し、炭素排出量実質0を目指した事業運営に注力しています。外国人技能実習生の積極的な受け入れや障害者の雇用促進など、多様な人材を雇用することで経営課題の解決に取り組んでいます。



株式会社グローバル・アシスト

薬の調剤や服薬指導、介護用品の販売・レンタル、住宅改修やケアプラン作成、ヘルパー派遣、高齢者賃貸マンション事業などを手掛け、地域の福祉、医療を支えて25年。社員の約8割が女性で、育児をしながらキャリア形成を行うための支援強化や高齢社員の働き方をサポートするワークシェアリング方式を採用し、多様な世代の活躍推進や地域社会への貢献を目指しています。



アクシスグループ 株式会社マネジメント・スタッフ

会計事務所としての基本業務から顧問先事業所(法人・個人事業)の経営分析やアドバイスなどさまざまな経営相談に対応するため、多様なキャリアを持つ人材を採用しています。社員の事情に合わせて勤務時間帯の変更や、在宅勤務を積極的に取り入れ、新規採用者には実践的な研修を行い、人材育成を図ることで定着につなげています。